

シユリサティヤサイババが卒業式 インドラ大統領による記念講演

二〇〇六年十一月二十二日、プッタパルティにて行われた、シユリサティヤサイババが卒業式第二十五回卒業式における、インドラ大統領による記念講演をご紹介します。

皆さんが今日あるのは社会のおかげです

シユリサティヤサイババが臨席していらつしやる神聖な環境の中で、シユリサティヤサイババが卒業式（SSS I H L / Sri Satya Sai Institute of Higher Learning）の皆さんに向けて、第二十五回卒業式の記念講演を行うことが出来ますことを、本当に光栄に思います。ババに対して、深い敬意を捧げます。副学長のA. V. ゴーカク博士、教授の皆さん、教職員の方々にご挨拶を申し上げます。皆さんは、私たちの文化遺産から受け継がれた偉大な価

値体系に基づいて、単に卒業生を育てるのみならず、真の人間を育成してこられました。ここで、ババの言葉を引用させていただきますと思います。「人びとは今日、靈性は日常生活とはまったく無縁であり、また逆に、日常生活も靈性とは無縁であると考えています。これは大きな過ちです。真の神性とは、靈性と社会的責任とが組み合わさったものです。国家の一体性と社会の調和は、靈性を基盤としています。靈性と社会的生存とを結びつけるものが神なのです」親愛なる卒業生の皆さん。こうして皆さんを見ておきますと、二つの要素を兼ね備えた完全な教育を受けることができた皆さんが、どれほど幸運であるかを思わざるを得ません。その二つの要素とは、皆さんを、生涯を通じての学習者へと育てる学習過程と、シユリサティヤサイババが主権していらつしやるブラシャーンティニラヤムで生まれた価値体系のことです。

千五百人を超える卒業生の皆さんが、この学校から、インド国内や、世界各地のさまざまな組織に入りました。この学校を卒業した人びとのユニークな特徴とは何でしょうか？ 私は、そのことを自分に問いかけていました。私はこの大学を何度も訪れており、学生の皆さんと交流をもつてまいりました。私はまた、第二十一回の卒業式においても、シユリサティヤサイババの御臨席の許に講演を行いました。この神聖なキャンパスの価値体系に基づいた教育システムをもつ、この大学の卒業生の方々が、生涯にわたる学習者として、常に輝き続けるだろうということが、私にはよく分かりました。友である皆さん、何にも増して、皆さんは、私たちの文化伝統の流れを受け継ぐ神聖な環境に恵まれています。この環境の中で生まれてきた価値体系を、皆さんは生涯を通じて大切にし続けることでしょうか。皆さんは、教育を受けた期間中に、皆さんに与えられたこの神聖な環境や、皆さんを導く偉大な教師の方々を体験したばかりでなく、学校の周辺の多くの村々で、痛みや苦しみも見てきましたが、それは皆さんが社会的責任を果たすための学びの過程だったのです。つまり皆さん方は、最も重要な教育期間中

毎年わが国では、三百の大学と、そこにつながる一万余七千の単科大学から、三百万人の大学生たちが卒業しています。また今日は、サイババから四百八十八人の卒業生が世に出て行くとしています。過去二十五年間に、八に、シユリサティヤサイババが説いていらつしやるように、靈性と社会的責任の両方を吸収したのです。ブラシャーンティニラヤムが靈的な集合場所へと変容を遂げつつあり、ババ御自身が、さまざまな宗教に属する偉大な人物が送った、素晴らしい生き方の例を数多くお話しになり、また、宗教を卒業した靈性というものを、自ら広めていらつしやいます。さて、私は友である皆さんと、人生の目的について話し合い、また、ブラシャーンティニラヤムの卒業生たちが示した奉仕の精神の事例をいくつかご紹介したいと思います。こうした事例は、シユリサティヤサイババが卒業式（SSS I H L）が、全能の神の祝福によって、人類社会と、人間の不屈の精神に対して行ったユニークな貢献を象徴しています。

人生の目的

人生の目的は、「バガヴァッドギーター」の中に見事に説明されています。戦争の一場面で、アルジュナが自分の親戚や知人たちとクルクシェートラで戦うことをためらっていたとき、クリシナ（クリシュナ）神は、アル

ジュナの霊眼を開いてプリンダーヴァンのビジョンを示しました。そこは庭園全体に美しい花が咲き揃って芳しい香りが漂い、花にはミツバチが集っていました。それはうっとりするような光景です。庭園の別なビジョンにおいては、朝咲いていた花はすべて地面に散っていました。クリシナ神はアルジュナに言います。「花をごらん下さい。彼らがいかに気前よく、自らの香りと蜜を分け与えていることか。花はすべてのものたちに、自分のエッセンスをふんだんに与える。そして、自分の務めが終わったら静かに散っていく。さまざまな特質をもっていないが、決して気取ることのない花のようになりなさい」クリシナ神は人類に対してこのようなメッセージを伝えていきます。この学校のすべての学生たちにこのような特質が浸透していて、彼らはあらゆる仕事の領域においてそれを守っています。ここで、この大学を卒業して、インド国内のさまざまな場所で働いている学生たちの経験を、いくつかご紹介したいと思います。

リーダーシップの特質：尊敬、耳を傾けて 適宜問題を解決すること

に、解決策が明らかになり、全員の心の中に、平和に満ちた目的と、勤労の精神とが育ちました。

ダルマ（正義）がダルマを守る

ここに、サイ大学のもう一人の卒業生である、スリヴィッディヤダル氏の例があります。彼は、バンガロールを拠点とするロータス・エナジー・システムズという会社の社長で、実業界において、先ほどの例とはまったく異なった背景をもった人物です。この事例は、インドの国産IT企業の最大手の一つである会社の、巨大な発電施設の防音装置を提供する際の金銭的交渉において、高い倫理基準がどのような役割を果たしたかを示すものです。

技術面において、その仕事に最も適した会社として、すぐに彼の会社の名前が挙がりました。彼らにとつて不利な要素は価格面だけでした。技術的水準が高いので、スリヴィッディヤダル氏は、それ以上価格の引き下げを申し出ることができませんでしたが、おそらく彼は

まず、この大学を卒業してMBA（経営管理修士号）を取得した、ジャステイヴァムシークリシナ氏のことをお話しします。彼は、ジャルゴーン地区ミルク生産者協同組合の営業とマーケティングの責任者に任命されました。その組織には、ミルク組合の中でも最強と言われていた労働組合がありました。労働者たちは早朝から夜遅くまで働いていました。彼はここで、労働者のチームを管理しなければならなかったのですが、チームの中には、この事業所の労働組合の強力な指導者たちも何人か含まれていました。ヴァムシー氏の成功によって、最も難しいタイプの人びとさえも効果的に管理することができるようになりました。この成功は、ヴァムシー氏の人間愛と、「難しい」人びとの内にさえも、素晴らしい業績を見出し、それに報いることのできる能力によつてもたらされたのです。組合の業績と生産性を高めることに対するヴァムシー氏の貢献は、ゆるぎない見識を持つて、人びとを人間のかつ倫理的に扱うことによつて生まれました。彼は忍耐強く人びとの声に耳を傾け、道理に基づいて人びとと話し合いました。彼がその話の中に真実を見出すたび

値段の差が比較的小さければ、品質を保つことが顧客のためでもあると感じていたのだと思われれます。何よりも彼は、自社製品の性能を擁護し、競合他社の製品の欠点を挙げることも、自社製品の品質の高さのみに焦点を置いていました。

しかし、彼の会社の製品の性能と、それを擁護する彼の議論と彼の振る舞いには、勝者としてのあらゆる要素が揃っていて、その点に議論の焦点が当てられました。買手は非常に深く物事を考えている様子になって、興味深そうに彼に尋ねました。「あなたは交渉に当たってどのような哲学をお持ちのですか？」スリヴィッディヤダル氏は、いったい相手が何を考えているのか、また、何を言えばいいのか、よくわからなかったのか、最初に心に浮かんだ言葉を口に出しました。「…ベストを尽くして、後は成り行きに任せることです。起きるべきことであれば起きる、というのが私たちの哲学です」と買手は、「では、もしそうすることによつて、注文を取れなくなりそうな場合はどうですか？」と尋ねました。スリヴィッディヤダル氏は、直ちに、「ダルモークラクシャテ

イラクシタハ（ダルマ〔正義〕そのものがダルマを守る者を守ります）」と応えました。その言葉は、彼の会社の倫理水準を反映した言葉でもあったのです。

会社が存続するためには、その契約を取る必要があったのですが、ヴィッディヤダル氏が高い倫理水準を守ったために、契約は取れませんでした。それから一年ほど経つてから、非常に興味深い出来事が起こりました。あるとき、何の予告もなしに、例の買い手から電話が入りました。彼らはテレビ局を作ろうと考えていて、音響設備が必要だが、その種の仕事はまだ手がけたことがないというのです。電話の主は、「でも、あなたはこの仕事をやれますか？」と尋ねました。スリヴィッディヤダル氏の会社と取引をしたがっていました。彼は、即座に「はい」と答えました。

その日からというもの、彼の会社は、新しいテレビ局の全国ネットの設備を整えるために多大な仕事をしましたが、その間、一度も交渉の席に着く必要はありませんでした。例の大手IT企業のバイヤーは、巨大な発電機

設の防音装置を買った前回の経験から、スリヴィッディヤダル氏の会社の製品を買うべきだったことに気付いたのです。というのも、氏の会社の製品は、品質の高さを実証し続けたからです。その出来事がIT企業のものと考え方を変え、契約が成立してからは、お互いに誠実な取引を続けたので、両社の社運は上向きになりました。スリヴィッディヤダル氏のこの倫理的な振る舞いが、もう一人の人物の人生観そのものを変え、その人物の組織をも変えたのです。

リーダーシップが進路を変える

職業生活における人間的価値（ヒューマンバリューズ）の三つ目の事例は、ヴェンカテシユプラサード氏に関するものですが、現在トライインペックス社のCEOを務めるヴェンカテシユ氏にも、同様の人生体験があります。

ヴェンカテシユ氏は、CEOになる直前の任務では、同じ事業グループ内の不採算部門の再構築を一任されま

した。そのとき彼には、その部門を採算が取れるように立て直すためには、メンバーをどのように移動してもよいという権限も与えられていました。二年半の任期が終わるとき、ヴェンカテシユ氏は次のように言いました。

「私たちの部門は利益を生むようになり、残っていた銀行ローンを全額払い終えて、この二十一年間で初めて配当を公表しました。そして最後に、今の私たちには、健全な額の銀行預金があります。この変革期全体を通して、私は、会社のスタッフも従業員も、誰一人入れ替えることをしませんでした」

それでは、彼はいったいどうやってこの離れ業を成し遂げたのでしょうか？ ヴェンカテシユ氏は、啓発的な事実を明らかにしてくれました。

「私が関りをもった重要人物の一人に、六十を過ぎた会計士がいました。彼は退職していましたが、私は彼に、どうか仕事を続けて、私がこの危機を乗り越えるのを助けて欲しいと頼みました。私は彼の経験を重視していて、彼に深い敬意をもって接しました。私は彼の年齢にもか

かわらず、その能力を信頼したのです」しかし、それと同時に、組織的な観点から、ヴェンカテシユ氏は次世代の人びとをしつかり配置して、その年配の方の存在が、若い人びとの意欲を削ぐことがないようにしたので、会社には何の支障も起きませんでした。

会社の事業が好転してから何ヶ月もたつて、ヴェンカテシユ氏が会計士と机をはさんで座っていたとき、年配の会計士は、満足の笑みをたたえて「本当にありがとうございました」と言いました。そして、「あなたがこのような振る舞いをしたのは、あなたがババの学生だからです」と続けたのです。ヴェンカテシユ氏は、言うべき言葉が見つかりませんでした。氏は、「それまで長い間、私は、この部署の誰にも、自分の学歴のことも、スワミのことも話したことはありませんでした。私は驚きました。どのように反応すればいいのか分かりませんでした」と述懐していました。

これらの例は、ブラシャーンティニラヤム環境によつて、いかに学生たちに自信が植え付けられたかを示し

ています。そのため彼らは、どこに行っても人間的価値（ヒューマンバリューズ）を守り続けたのです。それは、次のような言葉で、スワミがいつも言っていることです。

自信があるところには愛があり、
愛があるところには信じる心があります。
信じる心があるところには平和があり、
平和があるところには真理があります。
真理があるところには、至福があり、
至福があるところには神がいます。

さて、親愛なる若い友である皆さん、ここで、私が高校生だった頃に、父が話してくれたことを、皆さんにお話ししたいと思います。それは、困難で、誘惑の多い環境の中に、どのようにして神のごとき善良さを導き入れるかについての話です。

人間の不屈の精神には全能の神の祝福がある

はナマズの礼拝を行ったのです。ナマズが終わったとき、イマームガザリには、まだそこに立っているシャイタンが見えました。イマームガザリは、いったい彼が何を待っているのかと尋ねました。シャイタンは言いました。「おお、イマームさん、あなたは神に特に気に入られている預言者アダムをも越えてしまわれた。アダムは私の感わしに勝てずに、私は彼に禁じられた木の実を食べさせたのです」シャイタンが自分をおだてようとしていることに気付いたイマームサヒブは、「おお、全能の神よ。私が甘言の罠に落ちないように、どうかお守りください」とアッラーに祈りました。シャイタンはとうとうあきらめて、消えてしまいました。サタンの企ては失敗したのです。同時にそれは、最も偉大な人物の一人が成功を収めたことにはなりません。友である皆さん。この話には、どのようなメッセージが含まれているのでしょうか？皆さんが、ここプラシャーンティニラムのキャンパスで勉強しているからには、生涯を通じて、皆さんはいかなるシャイタンにも、いかなる悪魔にも、おだてられて心を惑わされることがあってはなりません。必ずや皆さん方は、シャイタンの企てを打ち破って、皆さんの

イマームガザリという聖者は、十二世紀に生きた教師でした。父は私に、イマームガザリが墮天使シャイタンによって試みを受けたときのことを話してくれました。ある日、イマームガザリが、マハリフナマズ（日々の祈り）のために祈りの布を広げていると、目の前にシャイタンが現れて、次のように言いました。「尊敬すべきイマームサヒブさん。私はたった今天国からやって来たのですが、そこでは、偉大な人間に関する話し合いが行われていて、あなたこそが、現在地上に生きている最高の人物だという判定が下ったところです。あなたの偉大な資質の承認の証として、あなたは今後、ナマズを執り行う煩わしさから免除されることになりました」イマームガザリは、ナマズの時間が近づいていたので、落ち着きませんでした。そこで彼は、シャイタンを見ました。「シャイタンサヒブよ。第一に、ナマズを執り行うことは、まったく煩わしいことではない。そして、預言者モハメッドさえも（ああ、彼に平安あれし、毎日五回ナマズを執り行うことは免除されなかった。どうして私のようならぬすばらしいイマームが、それを免除されることなどあり得ようか？「ごくろうさん」このように言って、彼

人生における使命の達成に成功されることでしょう。

学習をすれば、社会的良識を備えたよい市民になることができます。皆さん方の生活を取り巻く科学技術の環境は、皆さんを知識社会へと導いていくことでしよう。皆さんの将来には、どのような技術環境が待っているのかということについて、ここでお話ししてみたいと思います。

科学技術の合流

サイ大学のウェブサイトを見て、私は、S S I H L（サイ大学）が世界の多くの国々から、教授陣を引き付けていることを知りました。間違いなくこうした人的資源は、「科学技術の合流」という新興領域に学ぶ学生たちにさまざまな教科課程を教えるために、活用することができます。

情報技術とコミュニケーション技術は、すでに合流して、「情報コミュニケーションテクノロジー」（ICT）

をもたらしています。

情報テクノロジは、バイオテクノロジー（生物工学）と組み合わさって、バイオインフォーマティクス（情報生物学）をもたらしました。今や、ネオテクノロジー（私が私たちの戸口を叩いています。それは、医学、電子工学、物質科学の分野において膨大な応用の可能性をもつ未来の領域であり、マイクロエレクトロニクスをはじめとする多くの領域に取って代わるものです。ナノテクノロジーとICT（情報コミュニケーションテクノロジー）の出会いによって、総合的なシリコンエレクトロニクスやシリコンフォトリクスが生まれ、マテリアルコンヴァージェンス（物質合流）が起きることが予測されます。マテリアルコンヴァージェンスとバイオテクノロジーが結びつければ、知的生物学と呼べる新しい科学が生まれ、それは、人びとがより長生きをして、より高い能力を発揮する、病気のない幸せでより知的な住環境をもたらすことでしょう。生物学とナノテクノロジーと情報技術が合流すれば、ナノロボットの開発に結びつきます。これは私の友人である専門家の話なのですが、ナ

開発して、コスト効率のよい生産とマーケティングによって、国際市場に出すことを可能にします。

初期の段階におけるワールドノレッジプラットフォームの使命は、パートナー諸国からのファイバーケーブルを使って、特定の研究開発上の任務に関して、研究開発機構、大学、企業を結ぶネットワークを作ることです。地下ファイバーケーブルというインフラストラクチャー（経済生産基盤）は、すでに多くのパートナー諸国の間に存在しています。それはただ、最先端の光通信によって光を放って、知識労働者たちの心に灯がともるときを待っているだけです。この知識グリッドは、テキストや音声信号、画像信号を運び、同期通信と非同期通信の両方を支える、数々のシームレスな接続の基盤となります。そのとき私たちは、学術的な環境の中でこのネットワークを駆使して、オンラインで授業をしたり、互いに遠く離れた場所で、高価な設備を共同利用したりすることができるようになります。また、事業環境においては、サイバースペースの中でバーチャルなプロトタイプピングの概念を使って、複雑なシステム―飛行機のように複雑な

ロボットを患者に注入すれば、病気の部分の診察を行い、病気の部分だけで治療活動を行って、人体に消化吸収されてしまいます。というのも、それはDNAを基盤とした産物だからであって、この他にもたくさん応用があるそうです。科学技術の合流に関する私たちのコアコンピテンス（核となる力）は、ワールドノレッジプラットフォーム（核となる力）の中で、多くの友好的な国々とともに、ワールドクラスのノレッジ製品の設計、開発、生産、マーケティングに携わるパートナーになることを可能にしてくれることでしょう。

ワールドノレッジプラットフォーム

今年の初めに、シンガポール、フィリピン、韓国の訪問期間中に、私は、「ワールドノレッジプラットフォーム」という概念を提唱しました。これは、ノレッジ製品（知識関連製品）を開発するために、パートナー諸国のコアコンピテンスを統合するものです。このプラットフォームは、パートナー諸国のコアコンピテンスを基盤とし、さまざまな領域におけるノレッジ製品を共同で設計、ものさえも―を、互いに協力し合って設計するために使うことができます。

ワールドノレッジプラットフォームの使命

「ワールドノレッジプラットフォーム」は、次に挙げるようないくつかの分野において、この世界を安全で、持続可能で、平和で、繁栄に満ちた生活の場にするために、私たち全員が緊急に取り組むべきミッション（果たすべき使命）を取り上げることになるでしょう。

1. エネルギー…探索、貯蔵、生産、転換。
2. 水…処理、持続可能な使用、利用効率、最小限の量の使用で最大限の活用をはかること、脱塩（海水淡水化等）。
3. ヘルスケア…診断、薬品配給システム、生涯ケア
4. 食料…保存、貯蔵、配給
5. 知識関連製品…ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク製品、ユーザインターフェイス
6. 自動車…ハードウェアと埋蔵ソフトウェアの統合、

- GPS使用による輸送システムにおける支援
7. ヘルスケア・遺伝子特性評価、癌や糖尿病等の病気の診断と治療に向けた医薬品のための幹細胞の研究ならびにモジュール。

8. 伝統医療・薬草やナチュラルメディスン、現代のバイオ製品との事例の共有。

つまり、ワールドノレッジプラットフォームは、多くの国々の協力によって解明されるのを待っている多くの革新的な取り組みの発射台となるに違いないのです。スワミジの帰依者の多くが世界中のさまざまな国で活躍しておられるので、ワールドノレッジプラットフォームは、そうしたすべての帰依者たちが合流して仕事を進めるための共通手段を提供することができるとでしょう。

結論

良心は私たちの心理を司るハートの中に燃えている魂の光であり、それは人生と同じくらい現実的なものです。良心は、私たちが正義に反したことを思ったり行ったり

するとき、それに抵抗して声を上げます。良心は真理のひとつの形であって、自分たちの行為や感情が正しいか間違っているかに関する知識の形で遺伝的に蓄積され、伝えられていきます。

徳の高い、勇気のある人物だけが、良心という道具を使いこなすことができます。そうした人だけが、魂の内なる声を聞くことができます。よこしまな人の内には、この働きが欠如しています。そのような人の良心の敏感な特性は、罪やけがれによって正常に機能しなくなっているのです。ですから、そういう人は正しいことと間違ったことの区別ができません。組織や、企業や、教育研究機関や、政府の指導者的な立場にある人びとは、自分の良心を駆使する能力という美德を培わなければなりません。澄み切った良心を駆使する知恵は、SSSIHL(サイ大学)のすべての学生たちに与えられています。

何百という村々に住む何百万人もの人びとに飲み水を与え、一万五千もの心臓切開手術を成功させ、価値体系の伴った高度の教育を授け、こうして神の祝福と現代医

学によって心身両面の苦痛を取り除くことは、まことに神聖な使命です。ババは、この偉大な神の使命のすべての先頭に立って、黙々と仕事を進めていらっしゃいます。私たちは、聖なる奉仕が進められますようにと、全能の神にお祈りします。

ここでもう一度、スリサティヤサイ大学(SSSIHL)を卒業される全員の方に、皆さんが素晴らしい学業成績を収められたことに対して、心からおめでとうと申し上げたいと思います。また、スリサティヤサイファミリーの方々全員のご多幸をお祈りします。皆さんが、この国の若者たちに対して価値に基づいた教育を推進するという使命が達成されますようにと、お祈り申し上げます。

すべての人に神の祝福がありますように。

栄光に輝く地球

私たちの銀河系が、何億何千万という星とともに輝い

ている。私たちの愛する星である太陽は、八つの惑星を周囲に巡らせて銀河系の中を運行し、二億五千万年かけてその軌道を一周している。銀河系のどこかで、驚きに満ちた声が響きわたった。「あそこを見てごらん。地球が栄光に満ちた輝きを発しているよ。どうしてあんなに光っているのだろうか？」

甘い声で、優しい答えが返ってきた。「それはただの光じゃないよ。それは知識の光。それは奉仕の光。それは平和の光なんだ。特に強い光がブラシャーンティニラムから発せられている。地球は今、偉大な魂を懐に抱いて運び始めてから、八十回軌道を周り終わったところだよ」

(これは、インド大統領のホームページで、この記念講演の最後に掲載されている、アブダルカラム大統領自身が書かれた詩です)

二〇〇六年十一月二十二日 アーンドラプラデーシユ州

プッタパルティにて

(インドのアブダルカラム大統領のホームページからの翻訳)